

令和3年度老人福祉関係予算に関する要望事項

未だ新型コロナウイルス感染症が収束する目途がついていない中で、私たちの業界は、特に、感染すると重症化しやすい高齢者のみなさんに対するサービスを担っており、感染を未然に防止する観点から様々な対策を取っております。また、多くの施設が老朽化などもあり、施設などの改修・修繕が必要となってきました。

このようなことから、当面の諸問題について、要望いたしますので、格別のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

1 介護福祉を担う人づくりについて

(1) 介護職員の発掘について

- ① 小・中・高を含めた学校教育の中に福祉・介護に対する理解を深めてもらうための、施設見学や体験学習を取り入れて頂きたい。また、県内の県立高校に福祉学科又は「介護・福祉コース」を増設していただきたい。
- ② 福祉、介護のイメージアップの為、メディア等を通じた広報活動を福祉人材センターの活用も含め、継続・拡充していただきたい。
- ③ 外国人の採用・定着にかかる助成費目の創設をお願いしたい。(渡航費と入国時の2週間滞在費、日本語教育費、生活環境準備費、翻訳機の導入費用など)

(2) 専門的人材の定着・要請について

- ① 介護福祉士になるための実務者研修の費用助成をしていただきたい。
- ② 介護職員による喀痰吸引等の県登録機関での研修受講費が高額なため、研修受講費の助成をしていただきたい。

(3) 福祉ボランティアの育成について

- ① ボランティアの確保のため、登録ポイント制を導入している自治体もあることから、県としてもその制度の創設について、検討していただきたい。

2 介護保険制度の充実について

(1) 介護報酬について

- ① 2025年には団塊の世代が75歳以上となり、国民の介護の需要がさらに高まること等から、介護報酬のプラス改定及び、重度化した利用者対応など通常より負担がかかる業務などについて、適切に介護報酬上の加算がなされるよう、国に強く働きかけていただきたい。
- ② 介護職員への処遇改善加算・特定処遇改善加算などの事務処理は、未だに煩雑であり、申請のデジタル化も含め事務負担軽減のため、手続きの簡素化について国に働きかけていただきたい。
- ③ 介護施設で働く職員全体の処遇改善が図られるよう、国に働きかけていただきたい。

(2) 施設整備について

- ① 地域医療介護総合確保基金事業にある「介護施設等の整備にあわせて行う広域型施設の大規模修繕・耐震化整備」について、「介護施設等の新規整備」の条件がなくても、補助対象となるよう国に要望していただきたい。また、大規模修繕に関する県単独事業の創設もお願いしたい。
- ② 感染症対策に資する大規模改修やレイアウト改修に関する補助制度の創設について、国に働きかけていただきたい。
- ③ 福祉用具の活用によるノーリフティング環境整備のための補助制度の創設について、国に働きかけていただきたい。

(3) 運営面について

- ① 介護職員等の資質向上のため、施設内研修は欠くことができないので、施設内研修を行った際の講師費用や職員の時間外手当の助成を、ご検討いただきたい。

3 介護保険制度外の施設整備について

- ① ケアハウスに対する事務費補助金については、これまで通り利用者サービスや職員待遇が低下することがないように、維持・確保を図っていただきたい。
- ② 軽費老人ホーム、養護老人ホームは施設の老朽化が顕著であり、施設面の改修が迫られており、大規模修繕などに対する県の補助をお願いしたい。

4 コロナウイルス感染症対策等について

- ① 新型コロナウイルス感染緊急包括支援事業（介護分）の継続及び、支援額の増額を、国に働きかけていただきたい。また、国の事業の上乗せなど、富山県独自の手厚い支援施策の拡充をしていただきたい。
- ② 職員のために安心して働ける環境整備の一環として、県として感染症発生時の介護職員の宿泊場所について、市町村とともに確保していただきたい。
- ③ 施設従事者に対するインフルエンザ、新型コロナワクチン接種料金の経費の全額補助を、国もしくは県単独で実施していただきたい。
- ④ 特別養護老人ホーム入所者へのPCR検査については、県主導のもと施設内でPCR検査が受けられるようにしていただきたい。
- ⑤ 老人福祉施設の職員のPCR検査ないしは抗原検査等が必要な法人について、県から助成していただきたい。